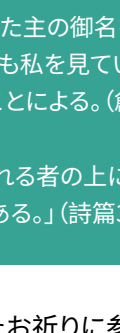




私を見ていられる神

THE GOD WHO SEES



ロヒンギャ人のために祈る30日間

2025年2月28日 - 3月29日

ハガルは自分に語りかけた主の御名を呼んで「あなたはエル・ロイです」と言った。彼女が「ここで私を見ていられる方の後ろを拝めたのか」と言ったことによる。(創世記16章13節)

「見よ、主の目は主を恐れる者の上にあり、その慈しみを望む者の上にある。」(詩篇33章18節)

30日間の期待に満ちたお祈りに参加して頂きありがとうございます。様々な人、場所、宣教活動や状況へ祈りを捧げる中で、どうか神がロヒンギャへの深い愛を植え付けてくださいますように。下記の祈り事項は様々な状況に置かれている世界中のロヒンギャへの祈りへと導きます。共通点もありますが、場所に依じた特有事項もあります。

アメリカ合衆国

1 約1万2千人から1万5千人のロヒンギャがアメリカに定住したと予想されていますが、クリスチャンの数はごく僅かです。まだイエスのことを知らないロヒンギャの人々が主の愛と導きに出会えるようお祈りください。主が彼らの夢に現れ、ビジョンを与え、キリストを主だと受け入れられるよう心を和らげてください。

2 最近未亡人となったアミーナさんは3人の10代の娘達をアメリカに呼び寄せる手続きで困難に直面しています。どうか家族が再会できますように、そして主は彼女の苦しみをわかってくださっている、ということが彼らにできますように。そして同様の状況に置かれている家族がイエスに確約されている修復を聞き、希望を持つことができるようお祈りください。

3 あるロヒンギャの家族はミャンマーに住む家族の一人を最近失いました。遠方の家族の死を悲しむこの家族とその親族に慰めと平穏がもたらされるようお祈りください。宣教師達は彼らに福音を伝えました。この家族が彼らの痛み、悲しみを理解する神のことを知ることができますように。

ミャンマー

4 戦闘が続く中、何千ものロヒンギャがラカイン州にとどまっています。断続的なネット切断や通信網遮断に加え、両者の誤報も飛び交い、ロヒンギャの置かれている実際の状況がわかりにくくなっています。そんな中でも神は彼らの苦しみを理解し、嘆きを聞いてくださいます。どんな戦況下であっても神がロヒンギャへ平穏と保護をお与えになるようお祈りください。

5 ミャンマーの内戦はロヒンギャ危機へ暗い影をおとしています。国内のロヒンギャは他の人々と同様にインフレ高騰や生活必需品不足などに日々苦しんでいます。ロヒンギャが、人間の指導者や政府ではなく、希望である神の中に生き抜く力を見出すことができるよう祈りましょう。

インド

6 インドに住むクリスチャンのロヒンギャに祈りを捧げてください。彼らは、イスラム教徒のロヒンギャからの迫害と脅威に直面しています。これらの困難な状況の中でも彼らに力、平和と安全が与えられるようお祈りしましょう。

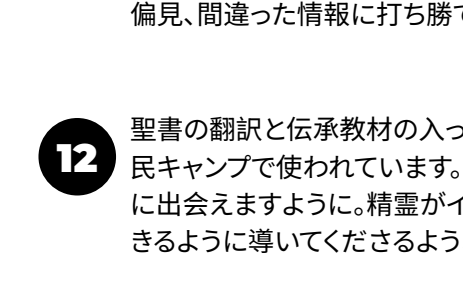
7 ロヒンギャの教会が主の愛と真理を反映し、よりイエスのように成長できるようお祈りください。神が信者を力づけ、知恵と尊敬と共に教会を導くことに熱心な指導者をおこしてくださるよう祈りましょう。

8 新約聖書の録音版が間もなく完成します。大きな問題なく完成するようお祈りください。そしてこの聖書が広く使われ、世界中のロヒンギャに希望と変化がもたされますように。

パキスタン

9 何十年前にも何千というロヒンギャがパキスタンに逃げました。今では彼らは人権もなくスラムに住み、存在がほぼ消し去られています。多くが低賃金の仕事や漁業をしています。クリスチャンのパキスタン人はロヒンギャへ手を差し伸べる必要性和機会を見出しつつあります。どうかロヒンギャへ福音が届き、彼らの心がイエスの愛を受け入れられるように整うことをお祈りください。

10 パキスタンのロヒンギャは迫害され、彼らは安全のために自らを孤立させました。彼らは生き延びるために素性を隠さなければなりません、ロヒンギャの伝統は根強く残っています。クリスチャン信者が、ロヒンギャは「恐るべく、くすしく」創造されたことを伝え、彼らの言語によって天の父の愛をロヒンギャの人々に語る機会が与えられるようお祈りください。



インドネシア

11 インドネシアでロヒンギャの人々に助けと難民認定が与えられるようお祈りください。同国では1951年の難民会議で難民認定が行われませんでした。神が政府高官の心を和らげ、慈悲に満ちた助けを差し伸べるよう祈りましょう。特にアケ地方に住むロヒンギャにお祈りください。どうか彼らがロヒンギャへの抵抗、偏見、間違った情報に打ち勝てますように。

12 聖書の翻訳と伝承教材の入ったMP3が配布され、難民キャンプで使われています。これを聞いた難民が神に出会えますように。精霊がイエスの真の姿を理解できるように導いてくださるようお祈りください。

マレーシア

13 代のロヒンギャの男子たちは困難な状況に置かれています。教育と仕事の機会が制限されています。彼らは問題児、無価値とされ、周りからは彼らには居場所がないと言われる。これによりマレーシアでは過酷な肉体労働で違法に働くしかない、というのが残酷な現実です。ロヒンギャの若者達がイエスはいつも見てくださっている、ということを知り、彼らが神の平和を経験できるようお祈りください。

14 ナールさんは13歳の時にマレーシアに来て、すぐに結婚しました。家族から引き離され、ロヒンギャの言葉話さないインドネシア人の女性と暮らしています。彼女は孤立し、孤独を感じています。結婚後1年でナールさんには子供が生まれ、異国の地で親になろうとしています。彼女のようになくさんの10代のロヒンギャの花嫁達が私たちを見てくれる神のことを知り、愛するようになることをお祈りください。

15 2020年以降、マレーシアではロヒンギャに対する脅威が強まっています。各地でロヒンギャを追い出すため、家主達は意図的に家賃を引き上げています。ソーシャルメディアではロヒンギャへのヘイトスピーチも増加しています。この脅威は各地のNGO支援へのアクセスを妨害しています。マレーシアの人々と政府がロヒンギャを同じ人間として扱い、隣人として受け入れるようにお祈りください。

16 マレーシアのロヒンギャ達は「望みを得ることが長びき心を悩ませて」います。(箴言13章12節)。彼らは安全を保障するUNHCRカード、アメリカへの定住、子供達へのより良い未来、家族を持つことや愛する家族との再会などを望んでいます。彼らが待ち続ける中で神に出会うことができるようお祈りしましょう。

ネパール

17 ある宣教団体がロヒンギャ難民の住宅建設の最終段階にあります。彼らは住居を購入し、電気と水をひきました。500人のロヒンギャに安全な場所を提供することが目的です。どうかこのプロジェクトが、家主による暴力の脅威からの中にあっても、無事に安全と、安定、自由を与えることができるようお祈りください。

18 あるアメリカ人が2人のネパール人ロヒンギャに「コーランは何度もイエスが言及されているが、彼についてどう考えるか。」と質問したところ、その後45分間の議論がかわされました。次の訪問の際に、より多くの霊的な会話が交わされ、この2人の目が開かれるようお祈りください。

ヨルダン

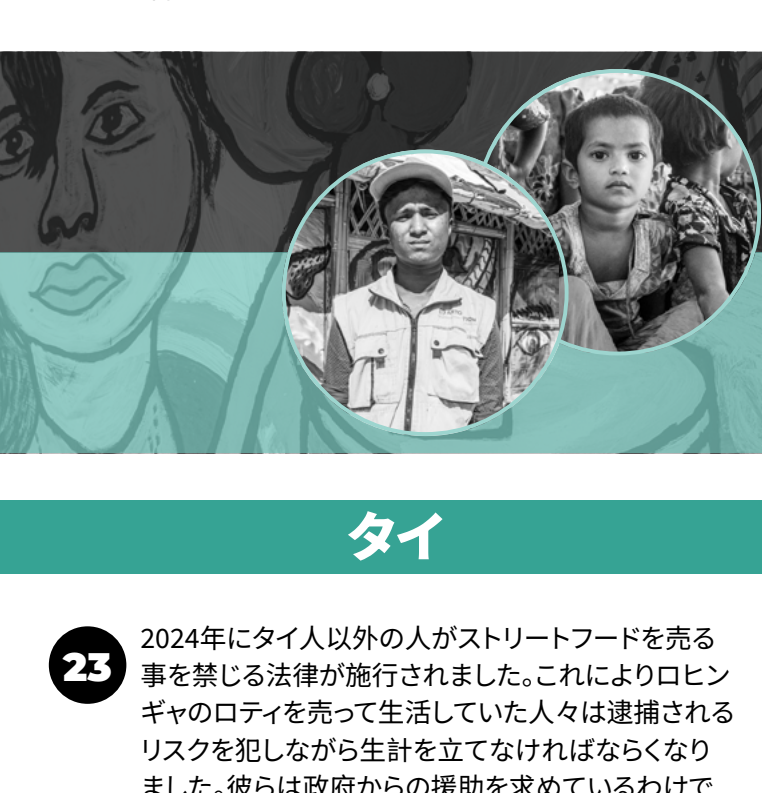
19 ヨルダンには小さなロヒンギャのコミュニティが存在します。彼らの多くは公的文書がなく、教育を受けられないため、生活は楽ではありません。クリスチャンの小さなNGOクリニックがロヒンギャの人々に基礎的医療を提供しています。ロヒンギャの人々が、クリニックスタッフによる愛に満ちた治療によって、いつもロヒンギャの人々を愛し見てくださる神を知りたい、という深い思いへと導いてくれるようお祈りください。

20 ヨルダンでは南アジア人に対する人種差別と偏見が強く、ヨルダンでの伝道の妨げとなっています。これまでロヒンギャに積極的な働きを行なった人はいません。神はヨルダンのロヒンギャの一人ひとりを見てくださり、彼らにご自身を知ってほしいと願っておられます。国内外を問わず、ロヒンギャへの積極的な働きが行われるようお祈りください。

サウジアラビア

21 サウジアラビアのロヒンギャの人々の多くは25-30年前に移住してきました。彼らに市民権は与えられず、労働市場ではサウジ人が優先されるため、仕事を得るのは困難です。イスラム発祥の国で孤立してしまっている彼らに、どうか神が夢やビジョンを通してロヒンギャの人々に現れてくださるようお祈りください。

22 アブ・シャリフさんはロヒンギャ語で録音されたルカとヨハネの福音書を大切に受け取り、義父にも渡したそうです。アブ・シャリフさんがメッカで福音を聞く中で、彼とその家族の人生に変化がもたらされるようお祈りください。そして主のことを聞いた彼やその他の人々と、働き手との遠方からの対話が続けられるよう祈りましょう。



ロヒンギャの人々が私たちを見ていられる神を知ることができるようお祈りください。

タイ

23 2024年にタイ人以外の人々がストリートフードを売る事を禁じる法律が施行されました。これによりロヒンギャのロティを売って生活していた人々は逮捕されるリスクを犯しながら生計を立てなければならなくなりました。彼らは政府からの援助を求めているわけでもありません。ただ恐怖に怯えずにこの地に住み、働き、自分とその家族を養っていきたくたいです。どうかこの法律が変更され、ロヒンギャの人々が恐怖を抱えずに働く事ができるようお祈りください。

24 2024年12月、政府は2週間だけ未登録の移住者が仮IDカード発行の申請ができる期間を設けました。しかし申請費用は1人410USドルで彼らが払える限度をはるかに超えていました。警察は申請できなかった人は怠惰であるとし、今年1月から本人登録確認書を持たない人を逮捕するための取り締まりを行なっています。この困難な状況の中で、神の正義と慈悲が勝利するようお祈りしましょう。

25 去年アミンさんは家賃不納のため3度の引っ越しを強いられました。幸いにも、神が新たに住む場所をお与えになりました。どうかアミンさんとその家族が神の配慮を認め、神の働きを見ることができるようお祈りください。そして彼らが「見ていられる神」を知ることができるようお祈りしましょう。

バングラデシュ

26 ロヒンギャの人々の苦悩は一昔前に世界中で報道されました。しかし今では他の危機に世界の目と支援が移ってしまっています。配給削減、予算削減や支援団体の撤退によりバングラデシュの難民キャンプの状況は悪化しています。世界はロヒンギャの人々を忘れてしまったかのように見えますが、神は彼らを見てくださり、寄り添ってくださっています。新たな国際支援が彼らの元に届くようお祈りください。

27 まだ新しく、小さなロヒンギャの教会は苦闘しています。母国語の聖書へのアクセスがほぼ無く、成熟した働き手や指導者がほんのわずかしかいません。しかし神はこの教会を見ていて、愛し、配慮をしてくださいます。ロヒンギャ教会の霊的成長のため、より多くの援助、機会や指導者が与えられるよう祈りましょう。

28 ロヒンギャのクリスチャン達は最も迫害された民です。彼らは果てしない脅威の中で日々孤独を感じ、不安に押しつぶされそうになります。どうか彼らが神において喜びを感じる事ができますように。力と愛の霊が与えられますように。そして彼らは万軍の神に守られている、という真実の元に日々を歩む勇気が与えられるようお祈りください。

29 ロヒンギャの聖書翻訳者のチームは、彼らの置かれている苦悩の状況により、翻訳している聖書の内容の洞察に苦しむ事があります。創世記の中の神とハガルの近さがその一例です。彼らが聖書を読む中で、神はそばに居る、という御言葉信じていることができるようお祈りください。

30 聖書の翻訳作業に祈りを捧げてください。世界中で翻訳内容の確認作業を行なっている人々にお祈りください。そして翻訳チームがフィードバックを受けられるようにしてください。機密性の高い内容の翻訳作業は不安定で反応しやすい気質の人々が住む区域で行われています。どうか翻訳チームに知恵と安全が与えられますように。翻訳チームとプロジェクトに神の助けがもたらされますように。そして彼らがハガルのように、神は常に配慮してくださっていることを賛美できるようお祈りください。

祈り続けたいですか?



QRコードをスキャンしていただくと、WhatsAppアプリから定期的な祈りのリクエストが届きます。



ロヒンギャのためさらに祈りたい方のために：
pray4rohingya.org